

# 奈義町の魅力を守るためにできること

10年後、20年後も奈義町には自然が豊かで、子育て支援が充実している町であってほしいです。私は、冬の山の駅から見ることのできる雲海、秋に見ることのできる黄金色の棚田などが好きです。また、奈義町は給食費が無償になっていたり、高校生までは医療費がかからなくなっています。さらに、奈義チャイルドホームに安心して子供を預けることができます。それを10年後、20年後まで維持するために私たちができることをやっていきたいと思っています。

奈義町の自然の豊かさを守るために私たちができることは、ごみをポイ捨てしないようにゴミ捨て場などの環境を整えるということだと思います。私は、四年生のころに友達と散歩ついでにごみ拾いをしたら、道端にビニール袋やペットボトルのキャップだけではなく古い傘までも捨ててあり、奈義町の自然はきれいなものになぜこのようなものを捨てるのか、と思いました。ごみを捨てやすい環境を整えれば楽にごみをゴミ捨て場に持っていくことができます。具体的には、ゴミ捨て場を整備したりアクセスしやすい場所に設置することができればよいと思います。

10年後、20年後も子育て支援が充実している奈義町にするために私たちができることは、この魅力を発信することだと思います。今、全国で少子化がすすんでいます。奈義町は出生率が高いです。なぜなら、子育て支援が充実しているからです。この魅力を発信したら奈義町で子育てをしてみたいと思う人が増え、奈義町が活気づくので、子育て支援を維持し続けられると思います。また、奈義町が活気づくことで、他の地域にも子育て支援をもっとよくしようという気持ちが広がると思います。

10年後、20年後も自然豊かなままで、子育て支援が充実している奈義町を守るためにまずは自分たちでできることから始めていきたいと思っています。